

Touch22 クイックスタートガイド

Auraphon Pro Touch22 USB-C オーディオ・インターフェース

1. 準備するもの

- Touch22 USB-C オーディオ・インターフェース
- データ + 電源対応 USB-C ケーブル (USB 2.0 以上)
- コンピューター (Windows / macOS) および / またはモバイル機器
- ヘッドホン、またはアクティブ・モニタースピーカー
- マイク、ライン機器、または楽器 (任意)
- 任意: USB-C 電源アダプター (5 V / 2 A 推奨)

2. 基本接続

1. Touch22 を Main USB-C ポートでコンピューターに接続します。
2. **Main Outputs (TRS または RCA) **にモニタースピーカーを接続するか、ヘッドホンをヘッドホン端子に接続します。
3. マイクまたはライン機器を背面の入力 1-2 に、ギター / ベースを前面の Hi-Z 入力に接続します。
4. 必要に応じて、専用 USB-C 電源入力に外部電源を接続します。
5. 十分な電源が供給された状態で、電源スイッチを ON 位置に設定します。
6. OS または DAW のオーディオ設定で Touch22 を入力 / 出力デバイスとして選択します。

3. 入力とレベル調整

- 入力 1-2 は Mic / Line / Hi-Z を自動的に検出します。
- 検出された入力タイプは TFT ディスプレイにアイコンで表示されます。
- タッチ選択ボタンを使用して、操作したい入力または出力を選択します。
- メイン・コントロールノブを回して、選択中の入力または出力のレベルを調整します。

入力および出力レベルは TFT カラーディスプレイで直感的に確認できます。

4. モニタリング

- Touch22 は **ダイレクト・モニタリング (ゼロレイテンシー) **に対応しています。
- モニタリングはタッチ選択ボタンで制御します。
- ソフトウェアミキサーやルーティング設定は不要です。

ハードウェアベースのモニタリングにより、低レイテンシーで安定した動作を実現します。

5. デュアル USB-C ホスト (任意)

Touch22 は 2 台の USB-C ホストを同時に接続できます。

推奨構成

- Main USB-C: コンピューター（DAW）
- OTG USB-C: モバイル機器、またはセカンダリ・コンピューター

この構成は、配信、モバイル録音、マルチデバイス環境に適しています。

6. ループバックおよび配信

Touch22 には以下の用途向けの内部ループバック機能が搭載されています。



- ライブ配信
- 画面収録
- オンライン会議

ループバック信号は内部処理され、メイン出力レベルとは独立しています。

7. 電源および USB 接続 (重要)

USB-C ケーブル

必ず データ通信と電源供給の両方に対応した USB-C ケーブルを使用してください。

-  データ + 電源対応 USB-C ケーブル（USB 2.0 以上）
-  充電専用 USB-C ケーブル
（動作不安定、音切れ、電源警告の原因となる場合があります）

低品質または充電専用ケーブルは、電源関連トラブルの一般的な原因です。

推奨電源アダプター

- 電圧: 5 V
- 電流: 2 A（推奨）
- コネクター: USB-C

5 V / 2 A の電源アダプターを使用することで、デュアルホスト動作、ループバック、高出力ヘッドホン使用、スタンドアロン動作などの高負荷条件下でも安定した動作を確保できます。

TFT 電源ステータス表示

- 緑色の稲妻アイコン: 電源十分
- オレンジ色の稲妻アイコン: 電源不足（外部電源推奨）

電源が不足している場合、性能に影響が出ることがあります。

8. スタンドアロン動作

Touch22 はコンピューターを接続せずに使用することができます。

- 専用 USB-C 電源入力に外部電源を接続します。
- 電源スイッチを ON 位置に設定します。

- DAC またはコンパクトなモニタリングミキサーとして動作します。
- TFT ディスプレイおよびタッチ操作は有効のままです。

※スタンドアロン動作には 外部電源が必須です。

9. サポートおよびドキュメント

取扱説明書（完全版）、ファームウェア、サポート情報は以下をご参照ください。

<https://www.auraphon-pro.com/support>